



関わってくれたすべての皆さん
3年間ありがとうございました



地域の皆さんと協力して歴史探検事業を実施



大松沢酒店は地域住民の集い場。交流や企画会議の拠点



古い農機具を使った三ヶ尻小学校での授業



子どもたちと一緒に散策しながら鳥海柵跡を説明

することはできませんでした。しかし、3年間の活動では「これまでの人々の歴史の積み重ねがあつて、今の生活がある」ことを伝えたいという想いでやってきました。そのことを、改めて感じてもらえたらと思います。

それに、地域を面白くすることが、自分の生活を面白くすることに繋がっているように感じました。皆さん一人一人が、自分の好きな分野を生かしながら、自分も地域に住んでいる人も地域自体も楽しくなるなら素敵なことじゃないでしょうか。

——活動を通して感じた金ヶ崎町の魅力や可能性はありますか？

板垣 金ヶ崎町は伊達領と南部領との境の他にも、古墳や郷土芸能など、さまざまなものの境目になっていて、文化が混在しています。活用できる素材が揃っているのが魅力ですね。

岩隈 3年間の活動で素材の掘り出しや紹介など、きっかけづくりをしてきました。その素材をどうやって活用していくか、残していくかは地域の皆さんが決めていくことだと思います。すぐにできることは多くないですが、自分の地域に魅力があることに気付くこと

いた一年でした。

岩隈 これまでの活動で町内でも協力隊の認知度が高まりました。冬には三ヶ尻小学校で出前授業「昔の暮らし体験」を行い、小学校と連携した学習プログラムづくりという新たなビジョンも見えてきましたね。

板垣 3年目は任期終了後のことを模索しながらの活動となりました。当初は自主運営組織の立ち上げを目標にしていたんですが、最終的には2人がそれぞれの道を歩むという決断に変わっていききました。

——特に印象に残っている活動はありますか？

岩隈 小学校との連携事業ですね。クイズ形式のVTRで金ヶ崎の産業や歴史を紹介する「金ヶ崎ふしぎ発見！」を行うため、町内のさまざまな方に協力をお願いしてインタビューを行いました。インタビューの人数や調整にはとても苦労しましたが、3回にわたる授業は新聞にも大々的に取り上げられ、なにより子どもたちが楽しそうに授業に臨む姿を見て強いやりがいを感じることができました。

板垣 協力隊の活動はもちろんですが、蘇民祭も思い出深いです。

3年目は実行委員会にも参加させていただき、深く関わりました。来年からは今年の蘇民祭で計画した永岡温泉宿泊パックを利用して参加したいですね。

岩隈 町民劇場にも3年間取り組んで、人生における大切な糧になったと感じています。

金ヶ崎での生活を糧に
それぞれの道へと進む

——3年間の活動の成果をどのように考えていますか？

岩隈 劇的な成果があったとは思っていません。ただ、地域の歴史に興味を持つ人が少しですが多くなったのではと感じています。子どもたちからも「一緒に探検した場所で何かしたい」と提案されるなど、自主的に何かをしていこうという気運が芽生えたことがとても嬉しかったです。

板垣 着任当初、小学校で授業することもラジオに出演することも想定していませんでした。すべては金ヶ崎と関わっていく中で偶然実現したものです。

ここには、まだまだ当たり前のものとして眠っている宝がたくさんあります。残念ながら、3年間の取り組みでその全てに光を当て

が大事ではないでしょうか。

——2人の今後を教えてください。

岩隈 4月からは博物館か生涯学習施設で勤務経験を積みながら、夜間の大学院で「郷土学習による地域アイデンティティの醸成」をテーマに論文を執筆したいと考えています。

また、3年間で育んださまざまな金ヶ崎との関係を大切にし、無理なく関わり続けられる関係ができればと思っています。

板垣 群馬県埋蔵文化財調査事業団の保存科学担当職員が決まっています。金ヶ崎にはなかなか来られませんが、蘇民祭の連続出場を目指していきたいです。

——活動中に関わった方々に一言お願いします。

岩隈・板垣 本当にさまざまな方の協力があつてここまで取り組むことができました。3年間で多くの方と関わったことはとても大切な財産となっています。

協力隊としてだけではなく、一人の人間として受け入れてもらえたことよって、はじめは縁もゆかりもなかった金ヶ崎の地で3年間活動を続けることができました。ありがとうございました。